



幼稚園型

2017年4月1日開園

認定こども園 さくら幼稚園

令和5年度[2023]版

要覧



もみの木農園で春大根の種を植える（4）

認定こども園は、保護者の方の家庭状況や就労状況に合わせて、多様な選択ができる「幼稚園機能」と「保育園機能」を備えた施設です。認定こども園さくら幼稚園は、みどりご園・たんぼぼ保育園・すみれ保育園との連携施設ともなっております。各施設の特色を考慮して、お子様の最適な利用方法をアドバイスできます。お気軽にどんなことでもご相談ください。

学校法人 さくら学園

幼稚園型 認定こども園 さくら幼稚園

〒987-0621 登米市中田町宝江黒沼字新西野1番地1

TEL 0220-34-6694 fax 0220-34-2450

本部事務所 〒987-0621 登米市中田町宝江黒沼字 よもぎはら 蓬原51-4 TEL 0220-34-2255 fax 0220-34-2450



さくら幼稚園沿革



1967年 [S42]	4月 5日	私立(個人立) さくら幼稚園として開園 (中田町上沼新田)
1983年 [S58]	1月	学校法人さくら学園認可 (中田町宝江黒沼字蓬原 51-4)
〃	4月 3日	学校法人立さくら幼稚園開園 (園児125名)
1988年 [S63]	7月	さくら学園研修棟完成 (花卉園)
〃	7月	幼児体育リズムふたば音楽園舎完成 (さくらんぼ園の前身)
1991年 [H3]	8月	音楽ホール・職員託児施設 (現在みどりご園きりん棟) 完成
1994年 [H6]	8月	すくすく保育研究所完成 (現在みどりご園コア棟)
1995年 [H7]	7月	花咲か幼老交流館・おもちゃ図書館完成
1998年 [H10]	12月	絵本・おもちゃ美術館完成 (現在みどりご園パンダ組・職員室)
2000年 [H12]	6月	幼稚園ビオトープ完成
2002年 [H14]	4月	文部科学省 人権教育研究指定校 (～2年間)
2002年 [H14]	9月12日	さくら学園 創立者 片岡国雄 (理事長・幼稚園園長) 逝去
	9月20日	片岡富士子理事長 片岡大助園長 就任
2003年 [H15]	3月	幼稚園満3歳児保育室増築及び園舎リフォーム及び耐震工事
2004年 [H16]	4月	文部科学省 教育課程研究指定校 (～2年間)
2004年 [H16]	12月	幼稚園3歳児保育室(ひよこ組)リフォーム及び耐震改装工事
2004年 [H16]	3月	異年齢交流施設にこここハウス開設 (現在みどりご園きりん棟)
2005年 [H17]	4月	学園事務所・幼稚園職員室移転 (宝江黒沼字桶下 238-1)
2005年 [H17]	5月	NPO 法人すくすく保育研究所設立
2006年 [H18]	5月	幼児体育教室開始 [幼稚園]
		さくら学園緊急メールシステム携助くん導入
2007年 [H19]	5月	サイバードリーム (英語教材) 開始
2010年 [H22]	12月	花卉園「光輝く広場」の造成
2011年 [H23]	3月11日	東日本大震災発災 (午後2:46)
2012年 [H24]	2月	さくら学園ビオトープ 日本生態系協会より奨励賞授与
2012年 [H24]	4月26日	さくら学園ビオトープ 八千草薫 (日本生態系協会理事) さん来園
2012年 [H24]	11月	第30回記念リズムフェスティバル
2012年 [H24]	12月	花卉園土地寄付採納手続き完了 (故小野正秀理事より)
2013年 [H25]	4月	学園本部事務所2階にラーニングルーム開設
2014年 [H26]	4月	びじゅつ教室始まる (三好友晴専任講師)
2014年 [H26]	8月	経営理念・教育理念の見直しと再構築
2019年 [H31]	4月	企業主導型 すみれ保育園開園
2019年 [R1]	5月1日	新元号「令和」施行
2020年 [R2]	3月～	新型コロナウイルス感染拡大防止対策(学校休業等)始まる
2020年 [R2]	8月	片岡菜菜江理事長 就任
2023年 [R5]	5月8日	新型コロナ2類から5類へ移行

認定こども園移行への行程

2015年 [H27]	6月	さくら幼稚園認定こども園幼稚園型申請準備開始(登米市、宮城県)
2015年 [H27]	12月	中新田幼稚園なかよしこども園視察見学、花卉園土地測量
*当初、旧園舎を改修・増築して認定こども園移行を計画したが、給食室増設等面積の問題に直面。更に、財政的支援(補助金)を受けられることが判明したため、学園所有の土地を活用して園舎新築に計画を変更。(27年12月申入れ)		
2016年 [H28]	2月	認定こども園設立準備委員会 事務長に大崎桂氏就任
〃	4月	認定こども園さくら幼稚園に係る諸手続き、土地の整備等開始
〃	4月13日	登米市長に面会し建設準備に係る支援を要請
〃	5月13日	日本政策金融公庫石巻支店融資申込→28.9月融資決定
〃	5月16日	登米市子育て支援課、寺島建築士打ち合わせ(学園事務所)
〃	5月17日	仙北信用組合中田支店融資申込→29.3月実行
〃	5月28日	さくら学園理事会・評議員会
〃	7月14日	登米市子育て支援課・教育委員会担当者との打ち合わせ

〃	8月1日	認定こども園移行保護者説明会 中田改善センター
〃	9月6日	認定こども園利用者負担金軽減について登米市長へ陳情(父母の会)
〃	9月12日	園舎新築工事入札会 16:00～ 学園事務所
〃	〃	補助金(こども安心基金・登米市)交付決定
2016年 [H28]	9月13日	株式会社太田組と工事契約
〃	9月17日	理事会・評議員会
〃	9月26日～	新入園児保護者入園説明会
〃	9月28日	安全祈願祭(花卉園:建設予定地)
〃	10月7日	認定こども園さくら幼稚園園舎新築工事本格着工
〃	10月25日	第1回総合定例会議(～29.2.14 第8回まで)
〃	11月1日	入園申込受付開始
2017年 [H29]	1月12日	理事会
〃	2月25日	理事会・評議員会
〃	2月28日	竣工・引き渡し
〃	3月4日・11日	入園保護者見学会
〃	3月15日	認定こども園さくら幼稚園認定書交付
〃	3月17日	建築確認証交付
〃	4月1日	認定こども園さくら幼稚園開園
〃	〃	さくら学園辞令交付式(サンサン遊戯室)
〃	4月3日	2・3号認定園児登園開始
〃	4月9日	認定こども園第1回入園式(全園児:水の里ホール)
〃	5月6日	開園感謝の会・完成見学内覧会
2018年 [H30]	3月21日	認定こども園第1回卒園式
〃	4月	病児保育(体調不良児対応型)開始
2019年 [R2]	1月	新型コロナウイルスの日本での感染始まる



もみの木農園を一望できる北側から園舎を望む



2016年の花卉園風景(航空写真)



ひよこ組の園庭を整備



2017年3月 ドローンで撮影



保育
三則

積極的な教育理念を
持つつづけよう
子供の若芽を
いつもみつけたそう
怒る先生でなく
叱れる先生になろう

昭和42年(1967年)
さくら幼稚園として開園

学校法人さくら学園は 未来に活躍する子供たちが

しあわせ

幸福を築くための根っこの部分をしっかりと創る教育を行います。

おひさまのように、子供ひとりひとりにたっぷりとひかりを注ぎます

根を養えば樹は自ら育つ、との格言通り、乳幼児期は人生の根っこの部分を作る大切な時期と言えます。保育園と幼稚園を運営する学校法人さくら学園は、豊かな体験活動を通して技と知恵と体力を身に付けることにより、未来に活躍する子供たちの幸福の基盤を創ります。

さくら幼稚園の教育活動の基本理念

- ・ 教えられたことは 時とともに忘れる
体験したことは よく理解する
- ・ 自ら気づき発見したことは 生きる力となる
- ・ 幼児期から身につけた 技と知恵と体力は
幸せを築く 一生の財宝となる たから



教育と保育活動の5本の柱

- ・ **体力作り** [毎日の乾布まさつとミニマラソンで丈夫な体とチャレンジする意欲を育てます]
- ・ **自然、農園活動** [自然の中での体験活動で五感(視・聴・臭・味・触)を刺激し、生きる喜びを感じます]
- ・ **リズムと美術教育** [専門講師による本物に触れる体験を取り入れ、豊かな感性を育てます]
- ・ **食の教育** [食べ物を選ぶ力、本当の味がわかる力、食べ物の旬や季節を感じる力を育みます]
- ・ **言語の教育** [言葉や数の学習は、幼児期の脳の発達をうながします。英語教育は幼児期こそ大切です]

さくら幼稚園教育・保育目標

- ・ よく遊び よく食べ 元気いっぱい
- ・ 丈夫で ねばり強いからだに
- ・ たくましい 自律とチャレンジのこころを
- ・ 知恵のわいてくる 行動力を
- ・ それぞれの顔 人間性ゆたかに



さくら幼稚園は 幼稚園型認定こども園

令和5年6月 さくら幼稚園 園長 片岡 大助

令和2年から始まった新型コロナウイルス感染防止対策も、令和5年5月8日から5類（インフル等と同じ）扱いとなりました。3年に亘った感染拡大防止対策によって、日常の活動や行事の在り方など、さまざまな見直しや制限がもたらされました。3密対策をしながらの感染拡大防止対策は、比較的自由だった保護者の方の園舎内出入りの制限、園生活を見て頂く行事の見直し、公共施設の使用制限による行事・活動の見直し等々、これまで普通に行い感じてきたことがひとつひとつ検討対象となり、感染拡大防止というキーワードに照らしながら変更や見直しをしてきました。今後もさまざまな感染症リスクを常に意識しながら、子供たちや先生たちが安心して園生活を送れる環境作りに一層努めていかなければ、とまっているところです。

さてコロナ禍には一定の区切りがつかいましたが、保育関係者にとってショッキングな数字が2月末に報道されました。令和4年の全国出生数が80万人を割り込み、想定より10年も早く少子化ペースが進行している、との統計数字です。ついこの間まで“待機児童対策”という言葉が、マスコミを賑わしていましたが、今度は入園する子供たちが大幅に減少していくという、私たちにとって非常に厳しい時代に大きく方向転換することになったのです。今まで、保育施設を利用したくても利用できないという状態から、保護者の方々が保育施設等を選んで、大切なお子さまを預けるといように変わっていくこととなります。私学のさくら幼稚園にとって、“選んで入園していただく”ということが園児募集の際のポイントでしたので、しっかりと園の特色を理解していただけるように情報発信をしてまいります。

どうぞ大切なお子さまの最適な教育・保育環境として選んでいただけますようお願いいたします。

さくら幼稚園のこれからの教育活動について

さくら幼稚園は、認定こども園という冠が付きましたが、根幹となる幼児期の教育活動はこれまでの歴史と伝統を継承しています。5本の柱となる活動はそのまま継続し、『**教育活動の基本理念**』を根本として、5つの教育・保育目標達成のために、日々意欲的で活発な活動が展開されています。

① 体力作りについて

乾布まさつは、開園以来の伝統で、年間を通して行なっています。乾布まさつ～ミニマラソン～鉄棒・タイヤ跳び・棒登りが主な体力作りのメニューで、学年ごとに季節・天候などを考慮しながらの日課としています。すべての活動の根幹は体力作りから… という方針のもと、毎日続けているさくら幼稚園の体力作りは、非認知能力の“やり抜く力”を育てる大事な教育活動になっています。

新しい取組として、ビオトープに傾斜（山）を作って、クロスカントリー風のコースを作りました。あぜ道を駆け抜け、木々の繁る起伏のあるコースは、足腰を強くし敏捷性を育てます。もみの木農園の畑の周囲1周100メートルコースはすっかり定着しています。鉄棒・雲梯・棒のぼり・タイヤ跳びは、チャレンジ表にシールを貼ることを目標にして、達成感や満足感を味わえる大切な日課として定着しています。幼児体育の専門講師によるこども体育教室も16年目となり、子供たちの大好きな活動としてすっかり定着しました。卒園後も通える放課後教室は、小学生にも人気があります。



毎日の体力作り



② 「自然・農園活動」と「食の教育」

自然活動や農園活動と食教育は密接な関係があります。新園舎の園庭に隣接している「もみの木農園」の畑には、サツマイモや野菜を植えています。自然活動ができる木々や草花が生き茂る“ビオトープ”は、井戸水での水遊びのできる環境に加え畑もあり、種や苗を植え、成長を観察し、収穫する喜びを体験する農園活動もできます。一連の自然・農園活動は、命の大切さを育む食教育につながります。農作業で土に触れ、収穫体験で喜びを知り、作って食べるクッキング活動につなげることにより「食教育」の充実を図っていきます。園外へ出かけての自然活動には、近くは諏訪公園、ちょっと足を伸ばして平沼沼ふれあい公園、水遊びには三滝堂などを利用します。自然の中での活動では、五感（視・聴・臭・味・触）の働きが活発になり、自ら気づき発見し体験したことは、生きる力に繋がります。



もみの木農園のサツマイモ畑



東和町三滝堂での水遊び



やきいもの機械

③ 音楽（リズム）・びじゅつ教室について

洋楽器や和太鼓など、さくら幼稚園には多種多様な楽器があります。基本的なリズム活動の楽器として、鍵盤ハーモニカを利用していました。コロナ禍により、ミニキーボードに変えて年中組・年長組は活動を行なっています。日々のリズム活動が、マーチングや器楽合奏に繋がり、さまざまな発表の機会を通して、協調性を育て達成感を味わう体験となっています。

日本の伝統楽器である和太鼓は、年少組の子供たちも喜んで和太鼓を打っている姿が見られます。音楽に合わせての曲太鼓、伝承太鼓や創作太鼓も定着させたいと取り組んでいるところです。「打てば響く」和太鼓は、年間を通しての音楽（リズム）教育に大いに活用していきたいと思えます。



ミニキーボード



マーチングの練習



和太鼓練習

工作が中心となる「びじゅつ教室」も子供たちに大人気です。身近にある素材を使っての創意工夫あふれる指導は、たっぴりと1時間、子供たちが集中して喜々とした表情で取り組んでおり、出来上がったユニークな作品に私達大人が驚かされるほどです。

④ 言葉の教育：英語の教育活動について

さくら幼稚園では、平成15年度から英語を学ぶ環境を整え、試行錯誤しながら現在のよう形【サイバードリーム】と日本人の講師による【英語で遊ぼ】の時間になりました。

英会話教育の基礎は、スポンジのようになんでも無負担・無努力で吸収できる幼児期に、楽しい「リズム」として毎日のように英語に接する環境(まず耳からネイティブな英語を入れてあげる)を作っておくことが大事だと言われています。平成18年10月に導入したサイバードリームは、まるで目の前に外

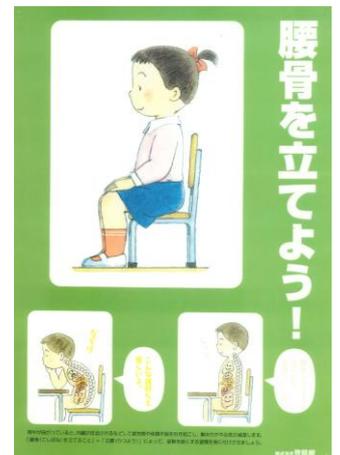
国人講師がいるかのような環境を、手軽に幼稚園の先生で毎日再現できる優れた教材(ツール)です。私たちも毎年専門の講師を招いて学習会を行ない、新しい情報の更新に努めています。更にサイバードリーム専任講師、「英語で遊ぼ」の専任講師の時間もあり、年間計画に合わせて楽しく英語に触れる時間として各学年(学齢)に合わせてのレッスンとなっています。



⑤ 言葉の教育：漢字による教育と漢字絵本について

さくら幼稚園の漢字教育は「漢字を教える」のではなく「漢字を使って教える」教育です。幼児は、漢字を読むのではなく、形としてとらえる能力があります。保護者の方の願いや思いが込められた“自分の漢字名”は分かるようにということで、さくら幼稚園では漢字名カードで出席を取っています。毎朝の漢字名カードによる出欠確認は、自分の名前だけでなく、友達の名前もたちまち認識できるようになり、観察力や集中力を養うことにも繋がります。さくら幼稚園の日課活動は、朝の挨拶から始まり、瞑想で心を整え、姿勢を正し、漢字名カードによる出欠確認で「ハイッ」と元気に返事をすることを毎日行います。園児らの目が輝き、姿勢がシャンとなり、脳を活性化する時間となります。併せて立った時に椅子を戻すことや靴を脱いだ時にきちんと揃えることを教えます。しつけは、「つ」の付く年齢までにしか身に付かないと言われます。九つ(9歳)までに、しっかりと身に付くように毎日毎日丁寧に繰り返し教えてあげることができるのは、就学前の幼児期が一番の適期です。

漢字絵本は、朝の日課活動の中でじっくりと活用してから、ご家庭に持ち帰らせるようにします。漢字が入っている絵本でも、興味・関心を引き出すことで、読書好きな子を育てる基盤を作ります。



毎週火曜日の体育教室

腰骨（こしほね）を立てる、瞑想（めいそう）、しつけの三原則について

さくら幼稚園の朝の日課活動は朝の挨拶から始まり、瞑想で心を整え、姿勢を正し、名前カードによる出欠確認でハイッと元気に返事をするを教えます。立った時に椅子を戻すことや靴を脱いだ時にきちんと揃えることも大事なしつけの三原則の基本となります。それが、人生の大切な“根っこ”になるのだと、子供たちを見ていると強く感じさせられます。

非認知能力（自制心・やり抜く力など生き抜く力に通じる学力とは異なる能力）は幼児期にこそ鍛えるべき、という教育経済学者の中室牧子氏の講演を聴く機会がありました。その著書「学力の経済学」には、非認知能力は筋肉のように、継続と繰り返して鍛えると良いとあります。

2003年、脳科学者の川嶋隆太先生の講演で「幼児期の脳は柔軟性に富み知りたがりでも繰り返しが大好きで無負担無努力で吸収できる特長がある」との話しを聴きました。それ以来、目の前の子供たちを毎日毎日観察していると、まさに2つの説がピッタリと符合しており、“その通り”だと感じさせられる場面を数えきれないほど見てきましたし、見せられています。そのたびに幼児期教育の重要性を認識させられています。

「しつけの三大原則」
一、朝のあいさつをする子に
二、「ハイ」とはっきり返事のできる子に
三、席を立つたら必ずイスを入れ、ハキモノを脱いだら必ずそろえる子に
森信三

活動のキーワードは【チャレンジ】

活動への意欲を引き出し活発に進めるキーワードはチャレンジです。“チャレンジ”する精神です。チャレンジという言葉の響きに、私たち教職員も勇気や意欲がかきたてられます。子供達が様々な活動や行事の中で、それぞれの持ち味を発揮できるようにひとりひとりに配慮をしていきます。

「ちょっと難しいかな」ということでも、励ましと毎日継続する中でできるようになります。その過程と結果から感動が生まれ、その感動が次の活動の大きなバネとなります。まさに、私たちが“熱意と情熱の炎を心に燃やすこと”が教育活動の根幹になります。さくら幼稚園の一番の誇りは、そのような明るく元気で熱意と情熱に満ち満ちた教職員が揃っていることです。



認定こども園

さくら幼稚園の一日

朝の迎えバス 2台 朝 7:50 出発
 (30~40分のコースを2回巡回)
 保育時間 平日 午後2:00降園

幼稚園開園以来、春夏秋冬1年を通して伝統となっている体力作り。イチニッサンッシッ！の音が園庭にこだまします。ミニマラソンは、園舎隣の田んぼ道を走ります。季節の移り変わりを、周りの風景が教えてくれます。

「生きる力」の基礎は、幼児期の豊かな遊びと体験活動の中で育みます..

さくら幼稚園では多彩な行事があり、多くの方々との交流があります。

幼稚園という枠の中だけでは、豊かな人間性や社会性は育まれません。親子での交流、祖父母との交流、地域社会の人たちとの交流は、**たくさんの人たちに関わり支えられて生きていくこと**を自然のうちに体得する良い機会となります。

自然の中での遊びや体験は、発見の喜びや感動があります。植物や農作物を育てることは、**生きる力を育てる**ことに通じています。楽器を演奏することや、踊りを練習することは、自分の個性を磨くことに通じます。**一人一人顔が違うように、個性もまたそれぞれのもの**があります。さくら幼稚園は、園児一人一人の成長を願って保育・教育活動を進めま

早番職員順次出勤

- 7:00~2・3号園児受入れ開始
1号園児早朝利用登園受入れ開始
- 7:45 バス添乗・運転職員打ち合わせ
- 7:50 迎えバス出発
- 8:30 " 1本目到着
- 9:00~ 1号標準時間・2・3号短時間登園
- 9:30頃まで 全園児登園
- 10:00 朝の日課活動(学年・クラスごと)
- 10:30 今日の主題
(学年・クラス・グループ)
*体力作り(全学年共通)
乾布まさつ・ミニマラソン・器具運動

火曜日 幼児体育専任講師 金曜日 美術専任講師
 週1回 英語専任講師 の担当する時間があります

- 11:30 3号園児給食
- 12:00 1・2号園児給食
ランチルーム、保育室を利用
- 13:00 午後の活動・自由遊び
- 14:00 降園(1号園児、バス、自家送迎)
2号園児午睡、1号園児(延長預かり保育)開始
- 15:30 2号・3号・1号延長おやつタイム
ランチルーム利用
自由遊び
- 17:00 2・3号短時間園児降園
- 18:00~ 夕方延長保育
- 18:30 全園児降園(1日の終了)

早朝利用は7時から受け入れを行いません。



1号2号認定園児は、同じ保育室で同じ教育・保育活動を2時まで行います。
 3号認定園児は、保育園のカリキュラムで園生活を行います。午前はおやつもあります。お昼寝もあります。

午後2時に、1号園児の標準時間利用園児の降園が始まります。2号園児と1号延長保育利用園児は、午睡等に入ります。



課外教室やっています
 ・体育クラブ
 ・英語教室
 ・学研教室
 ・びじゅつ教室
 ・ECCジュニア
 *各教室とも随時受付



砂場には屋根。フェンスはネコよけのためです



ホールにはクライミングウォールがあります

定員と園児募集

施設名	創立	定員	募集について
学校法人 さくら学園	法人認可 昭和58年	法人認可定員200名（学則定員）	1号認定75名 2号認定・3号認定90名 申込については問合せ下さい。
認定こども園 さくら幼稚園	認定 平成29年3月15日	利用定員 165名 2歳～就学前	

- * 1号認定園児は幼稚園で入園決定を行い、登米市子育て支援課で認定を受けます。
- * 2・3号認定の入園判定は登米市で行われますので、認可保育所と同じように市役所・各支所に所定の申込があります。申込書に希望する施設を記入して期日までに提出して下さい。

保育施設及び認定こども園を利用する子どもについての3つの区分

設定区分	内 容		利用先
1号認定	教育標準時間認定 満3歳以上	お子さんが満3歳以上で、教育を希望される場合。幼稚園の預かり保育利用はできます。	幼稚園または認定こども園の幼稚園機能
2号認定	満3歳以上・保育認定 (3・4・5歳児)	お子さんが 満3歳以上 で「保育の必要な事由」に該当し、保育所等で保育を希望される場合。	保育所または認定こども園の保育園機能
3号認定	満3歳未満・保育認定 (0・1・2歳児)	お子さんが 満3歳未満 で「保育の必要な事由」に該当し、保育所等で保育を希望される場合。	保育所・認定こども園 小規模保育施設等

開園・休園日等

	1号認定（幼稚園機能）	2号3号認定（保育園機能）
教育・保育時間	10:00～14:00（標準教育時間） 延長保育・早朝、夕方の預かりあり 登園時間 9:00～9:30	標準時間 7:00～18:00（11時間） 短時間 9:00～17:00（8時間） 延長保育 18:00～18:30（施設利用協力金掛かります）
休園日	土・日・祝日 夏・冬・春休みあり但し、土曜日、長期休業期間の預かり保育あり	日曜日・祝祭日・年末年始（12/29～1/3）
登園方法	園児専用送迎バス、自家送迎	原則は保護者、お家の方の送迎（自家送迎） 園児専用送迎バスの利用も可。但し2号のみ。
給食	完全給食	2号・3号認定 完全給食
完全給食は、月曜日～金曜日。土曜日も給食有り		

- * 1号認定の園児は、教育標準時間外の預かり保育「新2号認定」の申請ができます。

職員編制

職 名	人 員	職 名	人 員
園 長	1	栄 養 士	1
副 園 長	1	調 理 士	4
主任教諭	1	事 務 長	1
副主任教諭（保育機能担当）	1	事 務 員	1
クラス担任教諭・保育士	7	保育補助・支援員	2
保育担当教諭及び保育士	6	技術主任(運行責任者)	1
パート保育士	4	技術職員(送迎バス関係)	1
看 護 師	1		
計			33

嘱託園医 内科医及び嘱託薬剤師	1	佐藤 幸一郎（佐幸医院）
嘱託園医 歯科医	1	大坂 博伸（おおさか歯科）

- * 外部の専任講師は、上記に含まれていません



園児数とクラス編制

園児数 (R5. 4月)	さくらA (年長組)	さくらB (年長組)	たんぽぽ (年中組)	こすもす (年中組)	ひよこ1 (年少組)	ひよこ2 (年少組)	さくらんぼ (2歳児)	もも (満3歳)	計
男 児	14	14	12	11	10	11	8		80
女 児	11	11	13	14	15	13	8		85
小計	25	25	25	25	25	24	16		165

- * どのクラスも担任制ですが、サポートの職員を加えてのチーム保育を行っています。
- * 園児の日常生活をサポートする保育補助職員が加わります。
- * もも組は、満3歳になった翌月から入園できるクラスです。定員は3名程度です。

完全給食と食の教育

センター方式や外部委託ではなく、食の教育を考えた『自園調理』の給食提供をしています。自園調理方式にするねらいは、次の通りです。

- ① 作る人と食べる幼児の、お互いの顔が見え、食べる様子を見たり会話のできる給食
- ② 食の基本である「食べることは生きること」「人間は食べたものでできている」を体験できる給食
- ③ 地域の食材中心に伝統的料理を幼児期にこそ伝えることのできる給食

ご飯とみそ汁を基本とした和食中心のメニューになっています

- ・ 献立は、年齢を考慮した内容で、和食を中心にした温かくおいしい給食です。
- ・ さくら幼稚園で長年培ってきた「みそ汁(汁物)」は、給食になってもその伝統は引き継がれます。また、クッキング活動、もちつきやかき氷、焼き芋などの食教育も充実しています。
- ・ 幼児の給食は、手数は普通食の数倍かかります。例えば、魚は骨を丁寧に取り除いたり、年齢に合わせて食材の大きさを調整したり、アレルギー食に対応したりという幼児食ならではの手間を掛けています。
- ・ 箸を使うのは、日本の大事な食事の文化です。ご飯と汁物の置き方など、幼児期にこそ身に付けさせてあげたいマナーもあります。ご家庭の協力が必要です。一緒に取り組みましょう。
- ・ 園庭に接続する形でたんぽぽを畑地に変更した「もみの木農園」があります。真ん中にシンボルのもみ木があり、この畑に植えられる野菜は子供たちの足音や元気な声を聞かせながら育てます。更に、ビオトープにも畑ゾーンがあり、種植えから収穫するまでの農園活動に利用しています。ここで取れた野菜は、園児の家庭に持ち帰らせて、家庭での食育に役立ててもらいます。
- ・ 午前のおやつは、3号認定のみ。午後のおやつは、夕方までの預かり保育を行っている新2号・2号・3号園児全員に提供します。厨房がありますので、手作りおやつの日が楽しみになります。
- ・ 給食のメニューは、毎月献立表を発行していますが、フォトボックスという写真を公開するシステムで、毎日の給食写真を公開しています。(登録必要)



給食室と
スタッフ



給食時、おしぼりは衛生面を考慮して紙おしぼり機で作った清潔な物を使用。園内に数台の飲料水タンクを設置しています。

年間行事予定

主な行事を掲載してあります

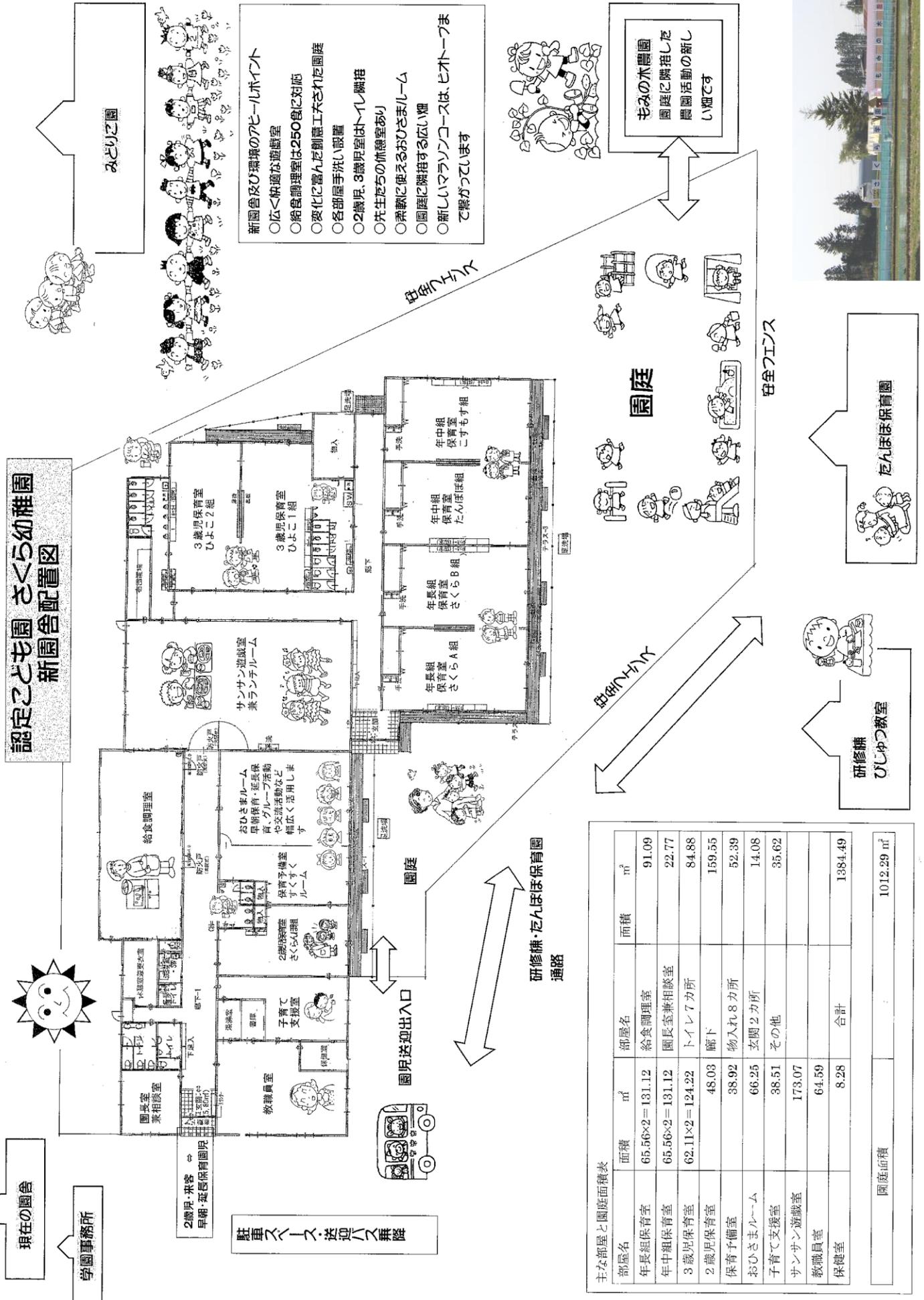
月	行 事	月	行 事	
4	入園式・始業式 体力づくり開始(学年ごと) 交通安全指導 お花見会 農園活動開始 父母の会役員会		9	運動参観日 (学年ごとに行うミニ運動会です) (諏訪公園または中田アリーナ)
			10	収穫まつり 自由参観日
5	子供の日記念草もちつき会 幼年防火クラブ結成 三滝堂などの園外保育開始		11	音楽リズム発表会 (水の里ホール) 年長組クラス旅行
			12	親子クリスマスコンサート (水の里ホール) 冬 休 み↓ (1号こども)
6	内科・歯科健診 総合防災訓練 (6.12) 学年ごとの教育参加 さくら組花山合宿		1	小学校訪問
			2	豆まき 学年ごとの発表会 (祖父母ご招待)
7	七夕まつり 夏季特別活動 (前期) サンサン元気夏祭り 夏 休 み↓ (1号こども) 年中組 お泊り保育		3	春さがし遠足 (年長組) 総合防災訓練 (3.11) 修 業 式 卒 園 式 (春分の日) 新年度準備・春休み↓ (1号こども)
			*保護者参加の行事は、年間予定表等で早目にお知らせします。	
8	夏季特別活動 (後期)			
毎 月 : 身体測定 お誕生会 避難訓練				



さくら幼稚園の先生と職員

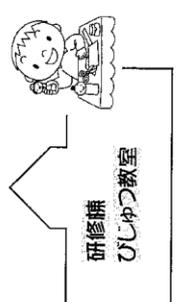


園舎の配置図と面積



- 新園舎及び環境のアピールポイント**
- 広く快適な遊戯室
 - 給食調理室は250食に対応
 - 変化に富んだ創意工夫された園庭
 - 各部屋手洗い設置
 - 2歳児、3歳児室はトイレ隣接
 - 先生たちの休憩室あり
 - 柔軟に使えるおひさまルーム
 - 園庭に隣接する広い畑
 - 新しいマラソンコースは、ピクトーフまで繋がっています

おひさまの木の園庭
園庭に隣接した農園活動の新しい畑です



主な部屋と園庭面積表

部屋名	面積 m ²	部屋名	面積 m ²
年長組保育室	65.56×2=131.12	給食調理室	91.09
年中組保育室	65.56×2=131.12	園長室兼相談室	22.77
3歳児保育室	62.11×2=124.22	トイレ7カ所	84.88
2歳児保育室	48.03	廊下	159.55
保育予備室	38.92	物入れ8カ所	52.39
おひさまルーム	66.25	玄関2カ所	14.08
子育て支援室	38.51	その他	35.62
サンサン遊戯室	173.07		
教職員室	64.59	合計	1384.49
保健室	8.28		
園庭面積			1012.29 m ²





さくら学園歌

作詞 さくら幼稚園第一回卒園児一同
認定こども園さくら幼稚園園長
作曲 只野悦子

おひさまのほるよ 大空たかく

こころがはずむよ ポンポンポン

おはようみんな さくら さくら がーくえん

しげんがいつばい かがやく笑顔

季節はめぐるよ ルンルンルン

あそぼうみんな さくら さくら がーくえん

からだをきたえて おいしくたべよう

生きぬく力だ グングングン

のびようみんな さくら さくら がーくえん

うたつておどつて チャレンジしよう

みんなが仲良し トントントン

あしたもげんきに さくら さくら がーくえん

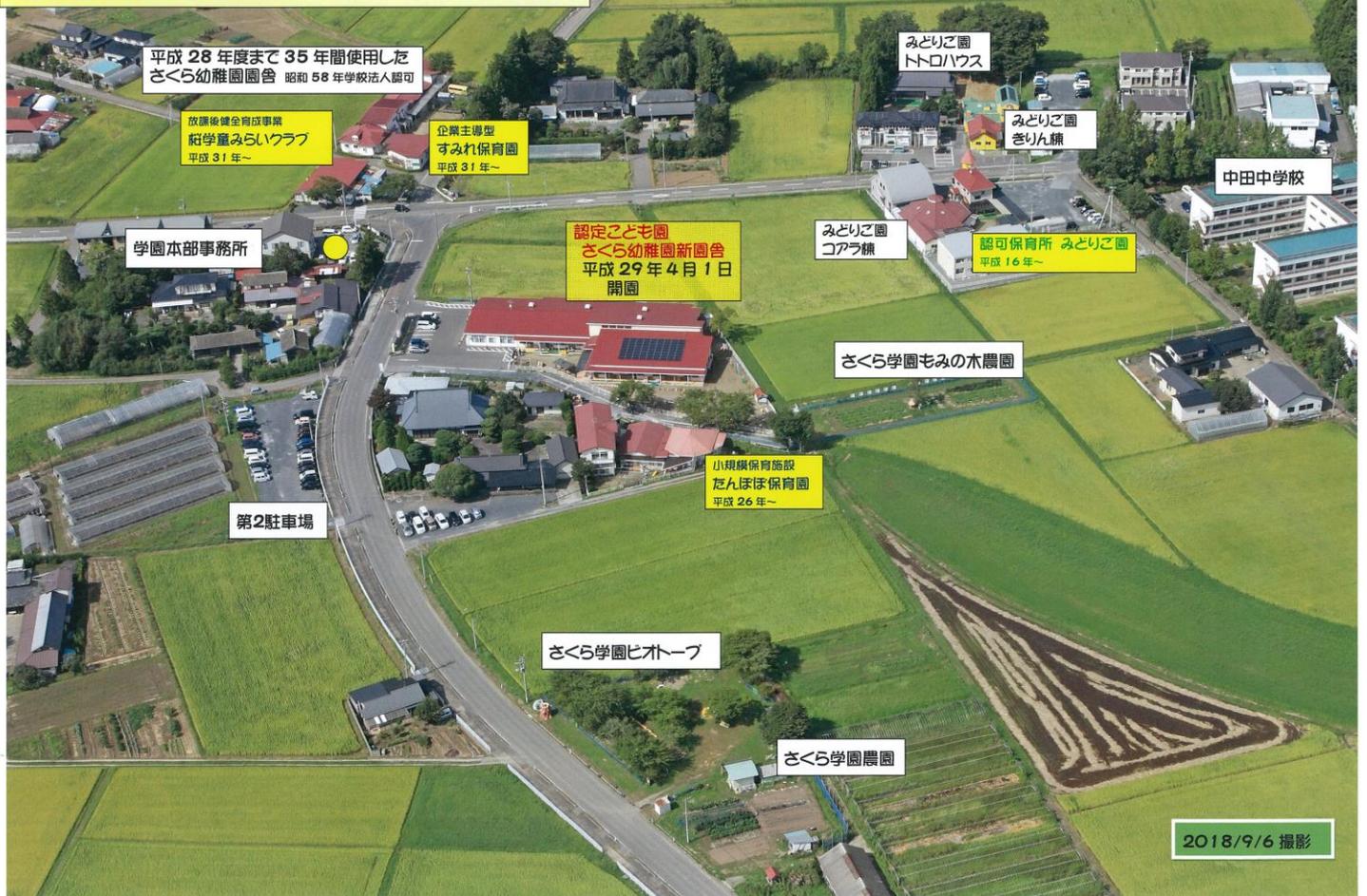
思い出いつばいあふれる希望

未来へ向かって GOGOGO

はばたけみんな さくら 学園 ありがとう



さくら学園施設配置図 H31 よちぎはら 中田町宝江黒沼字 蓬原51-4



学校法人 さくら学園 本部事務所 〒987-0621 登米市中田町宝江黒沼字 よちぎはら 蓬原51-4

運営施設

幼稚園型認定こども園 **さくら幼稚園**

〒987-0621 登米市中田町宝江黒沼字新西野1番地1 Tel **0220-34-6694** fax 0220-34-2450

認可保育所 **みどりご園**

〒987-0621 登米市中田町宝江黒沼字新西野37-3 Tel 0220-34-6677 fax 0220-34-2733

小規模保育事業施設 **たんぽぽ保育園**

〒987-0621 登米市中田町宝江黒沼字葉の木立129-2 Tel 0220-34-7789 fax 0220-34-7789

放課後児童健全育成 **桜学童みらいクラブ** 〒987-0621 登米市中田町宝江黒沼字蓬原51-4

企業主導型 **すみれ保育園** 〒987-0621 登米市中田町宝江黒沼字蓬原51-4 Tel 0220-23-8448